

Reborn

Vol.7 2018夏号

【特集】働きやすい職場へ

Take Free

.....
ご自由にお持ちください



社会医療法人ましき会

益城病院

MASHIKI HOSPITAL

Contents

早期の退院と社会復帰を目指す、これからの取り組み	1
働き方を柔軟に選択できる病院へ	2
【特集】働きやすい職場へ	3
新病院の施設環境を考える	4
新益城病院概要	5
PLAN2020 Dチーム／第4回 職場インフォメーション	6
ほっと一息 職員誕生会／メンタルヘルストピック	7
ラジオCM制作の裏側に密着！	8
大きかった求人CMの反響／子どもに寄り添う育児室	9
医局新任紹介	10
職員往来	12
研修と院内勉強会	14
資格取得	15
OFF TIME／病院情報	16
こころと心のミュージアム	17

益城病院 基本理念

社会医療法人ましき会は、患者さんとそのご家族に対し
最善のプロフェッショナルサービスを提供し、
精神科医療の責任ある担い手として、地域の医療・福祉・文化に貢献します。

五つの 誓い

1. 私達は、精神科医療を通じて社会貢献に努め、
社会医療法人としての公益的使命を果たします。
2. 私達は、こころを病む人々に対し、尊厳を損なうことなく、
心身の健康づくりに努めます。
3. 私達は、こころを病む人々が、
地域で安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. 私達は、お互いの立場を尊重し、働きがいのある職場づくりに努めます。
5. 私達は、医療の質を高めるため、日々、自己研鑽に努めます。

患者さんの 権利と義務

1. すべての個人情報を守られます。
2. 医療上の情報について十分な説明を受けることができます。
3. 医療行為について自ら選択することができます。
4. ご自身の負担で、他の医療機関の医師の意見を聞くことができます。
5. いかなる場合も人格的に尊重され、平等な医療を受けることができます。
6. 適切な医療のために必要な情報を伝え、主体的に治療に参加してください。
7. 病状の改善及び共同生活を維持するため、規則や指示を守ってください。
8. 医療にかかった費用を支払う義務があります。

早期の退院と社会復帰を目指す、 これからの取り組み

副院長 渡邊 信夫

益城病院では、2019年5月に新病院への移転を予定しています。それに先駆けて、2018年3月に橘病棟が精神科救急治療病棟の認可を受けることができました。精神科救急治療病棟に認可されたことで、これまで以上に、急性期の患者さんへ手厚い治療を行うことができるようになり、より早期の退院、社会復帰を目標に治療を行います。

一方、残念ながら、これまでの治療では効果が不十分で、長期の入院を余儀なくされている統合失調症の患者さんがおられます。このような症状を緩和し、社会復帰を可能にするために、いくつかの新しい治療に取り組んでいます。

その一つとして、抗精神病薬クロザピンを使用できる治療体制を作りました。クロザピンは、これまで数種類の抗精神病薬が有効でなかった治療抵抗性の統合失調症の患者さんに使用する薬剤で、治験では57%～67%に効果が認められています。この薬には、白血球減少、血糖値上昇などの副作用があり、日本では使用できませんでしたが、定期的な血液検査による副作用のチェック、内科医との連携などの体制ができ、安全に使用することができるようになりました。当院でも、安全性に十分配慮しながら服用していただき、症状を軽快し、病状を安定させることができるよう処方を開始しています。

また、病状が改善した患者さんで退院を希望される方には、退院後の訪問看護、グループホーム、デイケアの利用など、退院後の生活、治療援助を行い、無理なく安心して退院していただき、治療を継続できるように支援していきたいと考えています。



クロザピン準備委員会では、導入について入念な打合せを重ねてきた

働き方を柔軟に選択できる病院へ

看護部長 金子 元子

2018年4月1日付けで看護部長に就任しました。

当院看護部では「患者さん一人ひとりを大切に想い、やさしさとぬくもりのある看護を提供します」という理念を掲げています。職員の倫理観を高め、安心して安全な治療環境と患者さんの思いに添った、質の高い看護の提供を実践します。

専門職としての知識や技術、態度を身につけられる環境を提供することで、思いやりのある人財(材)を育成していきます。

2019年5月には、病院が移転オープンします。これからの時代は、仕事や結婚、子育てや親の介護など、各々のライフステージに合わせて働き方を柔軟に選択できる、それを応援する上司や同僚がいる職場環境の整備が求められます。専門職としてのキャリアを磨き、家庭と両立しながら、年齢を重ねても生き生きと働き続けられる組織を目指します。

前看護部長の意思を継承し、私たちの目指す看護を未来につないでいく仲間を大切に、患者さんやご家族、地域の方々から、「益城病院に来てよかった」と信頼を得られる病院を目標に、共に頑張っていきたいと思います。



水田由紀前看護部長からバトンをつなぐ

職員一人ひとりの手で 働きがいと働きやすさの両立を目指す

法人事務局 次長 宮崎 翔

当院は働きやすい職場づくりのために様々な取り組みをしてきました。古くは1971年に24時間対応の院内保育園開設。当時としては他に例を見ない取り組みでした。その後、夏休みに職員の小学生の子どもを預かる院内学童保育を開始しました。また、職員の功績を表彰する永年勤続者表彰、優秀研究・取り組み賞の顕彰や、職員の慰労と交流を目的とした職員誕生会、職員旅行、リフレッシュ休暇制度、各職種資格取得の受講料負担制度の導入など、職員を支援する様々な取り組みをしてきました。

2017年9月に「よかボス宣言」の募集をはじめた熊本県。創造的復興を目指し、働きやすく、働きがいのある職場にすることで、県民の総幸福量の最大化を目的とした、オール熊本による取り組みです。同年12月に犬飼理事長、松永院長も「よかボス宣言」を行いました。よかボス宣言を契機とした当院の働き方改革への取り組みの一部には次のようなものがあります。

- ライフスタイルに合わせた勤務時間等の労働条件多様化の検討
- 仕事の成果を意識した業務の見直し
- 計画的なリクルートによる安定した人材確保の検討
- 職員の特技や趣味を生かした部活動の充実

また、医療人としてプロフェッショナルサービスを提供し、精神科医療の担い手として責任の自覚を持つことは、結果的に“働きがい”をもたらします。当院には自己研鑽に励むことができる環境があり、ピア・レビュー委員会を中心とした利用者満足度向上のための体制もあります。働きやすい職場づくりは、職員一人ひとりが関わるのが大事です。前向きな環境や用意されたシステムを職員自らが上手に利用して、働きやすい職場づくりに繋がることを期待しています。



職員旅行（指宿）



組織横断的な研修を実施している



患者さんや地域住民も毎年楽しみにしている夏祭り

新病院の施設環境を考える

安心して居心地の良い新病院を目指して

法人事務局 施設主任 村上 誠一



2018年7月 新病院の骨組みが着々と完成していく

熊本地震から約2年、建物の破損とライフラインの断絶という深刻な状況からスタートし、早急な復興を念頭に復旧作業にあたってきました。ようやく復興のめどが立ち、現在は施設係として新病院設計に携わっています。

設計にあたっては、熊本地震被災経験の教訓を活かし、建築設計会社の担当者とともに、災害に強い病院づくりを目指しております。被災時に一番困ったのがライフラインの断絶でした。電気も水もトイレも使用できない状態に陥ったので、電気に関しては、3日間使用可能な大容量の非常発電機を地上階に設置し、非常電源回路の増設と見直しを行いました。給排水は、耐震性のある特殊な配管を使用し、建物地下の排水枡に水を溜めることができるようにするなど様々な工夫をこらしています。

患者さんから職員まで、当院をご利用いただく全ての皆様の安全を確保し、自らも利用しなくなるような安心して居心地の良い病院を目指して取り組んでいきます。

2019年5月オープン 新益城病院概要



新病院完成予定イメージパース（2019年春竣工予定）

新病院概要

熊本地震以前から構想・計画していた益城病院将来ビジョンを踏襲し、より具体的な復興計画PLAN2020を策定しました。新病院の場所は、現在の益城病院から県道高森線の惣領交差点を左折して、県道菊陽線を約700m直進（北進）した右側になります。（新住所：上益城郡益城町馬水123番地）

新病院はPLAN2020を踏まえ6階建ての鉄骨造建物とし、フロア毎に入院医療機能を集約。1Fは総合受付、外来、デイケア施設に加え精神科救急外来を設け、精神科救急病棟との連携を図ります。2Fは医局、事務局、厨房、更衣室、研修室等のスタッフエリア。入院病棟3F～6Fは既存病棟より個室割合を増やし、ユニット構造による個別対応と療養環境の充実を目指します。また、精神科災害支援中心病院としての機能を想定し、1Fにデイケアホール（体育館）を併設し、大規模災害時の被災患者受入等を可能とします。



2018年3月1日、関係者列席のもと新病院の起工式が執り行われた



PLAN2020 Dチーム

新しい給食施設の展望

栄養管理科 科長 井上 さとみ

全国的に集団給食スタッフ不足が問題となっている中で、職場環境改善対策を検討し、新厨房への導入について喧々諤々の意見が飛び交っています。集団給食の労働環境の改善が、人材確保へも結びつくものと考えます。

また、熊本地震を教訓に自助・共助マニュアルも充実させ、災害時でも食事の提供ができるよう、備蓄食材配置を充実させ、その管理・運用のための勉強会を行っています。

日々の食事の充実はもちろん、若くて経験豊富なスタッフが多いという特性を生かして、食事を楽しんでいただくためのイベントや、地域との関わりも増やしていきたいと考えています。



栄養管理科スタッフ全員で新しい給食施設を検討している



厨房ではミーティングでスタッフの心を一つに

職場インフォメーション

第4回 看護部 精神療養病棟

患者さんが落ち着いた日常を取り戻すために

3病棟 病棟長 村添 清美

3病棟は、精神科療養病棟です。長期入院の患者さんが落ち着いた日常を取り戻すことを目標に、スタッフ一同頑張っています。

現在、精神科ユニットケアを取り入れながら小グループの関わりを行い、患者さんの個別性



や社会性を大切に支援を行っています。長期にわたる治療に効果を実感できない患者さんのために、クロザピン治療もスタート。病棟スタッフ全員で勉強会を重ねて準備をすすめ、6月下旬から服薬を開始しています。

大人になっても祝ってもらう喜びを！

職員誕生会

1病棟 看護師 浪瀬 智恵美

入職 1 年目の看護師です。今回初めて職員誕生会に参加させて頂きました。小学生の時は家族や友人と誕生会を行う事でしたが、年を重ね大人になり結婚、出産した後は子供の誕生日をみんなで祝う事はあっても、自分の誕生日を祝ってもらう事は無くなってしまっていたので、久々に嬉しい気持ちと、少しの恥ずかしさを味わう事が出来ました。

いくつになっても祝ってもらう事は嬉しい事だと気づいたので患者様や職員、家族の誕生日にはおめでとうを伝えていきたいと思いました。

また普段交流が少ない他部署の方とも話しをする事ができ、充実した時間を過ごす事ができました。来年も参加出来るのを楽しみにしています。

【職員誕生会とは】

益城病院の職員福利厚生のひとつ。理事長、院長、副院長がホスト役となり、職員の労をねぎらい、組織横断的に職員同士の親睦を深めることを目的として、全職員を対象に月ごとに誕生会を開催しています。



2018年5月の誕生会

声をかけ合い、気がけ合うー職場の日常を取り戻すためにー

メンタルヘルストピック

臨床心理室 主任 小松 哉子

熊本地震後は、時間の経過とともに、被災というみんなの物語から、ひとりひとりの物語としての歩みが始まっています。心理室や労働安全衛生委員会では、心身の健康のために、役立つ情報を随時発信中です。

益城病院のスタッフ・そのご家族さまへ 熊本震災から2年です

もう少しで、熊本震災から2年が経過しようとしています。
毎日忙しいですね。身体の調子はどうですか？
眠れていますか？ 疲れたとき、イライラしたときはどうしていますか？

この時期に、心身の健康を守るために皆さんに知っておいて頂きたいことをまとめました。
少しでも心穏やかに過ごせるよう、ご参考になれば幸いです。

1

余震も激減し、日常の中では震災の影響を直接感じることは少なくなってきました。
そのため震災について語られることが少なくなってきましたが、まだまだ語っても良いです。

自分にとって安心な人と場所を選び、
話したいときには語りましょう。

2

震災の経験は、
皆さんの中に積み重なり、ふとしたきっかけで、不安や恐怖を感じることもあるかもしれません。
それはまだまだ当然のことです。



職員向け労働安全衛生リーフレット
発行は回を重ね9回目を迎えた

【特集】ラジオCM制作の裏側に密着！ by 宮崎 翔

2018年3月6日
岸部一徳さん
益城病院に来たる！



岸部さんと担当の宮崎

益城病院が医師を募集して
るんだって？今度メロン
でも持って未知子に教
えてあげよう！とかどう？



CM用コメントの打合せ。
岸部さん自ら色んなアイデ
アを提案して下さいました！

メロンは良くても、
未知子は著作権上、
難しいでしょうね～

あ～緊張する～
ドキドキ…

あ、それはいいね！
ラジオ出れるの？



せっかくだから
明日ラジオに生
出演したら？



会議室の外には岸部さんを一目見
ようと職員がわらわら集まって来ま
した（笑）

急遽決まったラジオ生
出演で、RKKラジオと
交渉をする広告代理店
営業の安永さん。



あ～緊張する～
ドキドキ…

朝イチで岸部さんの
宿泊しているホテル
へ車で迎えに行き、
そのまま収録スタジオ
へ。



2018年3月7日
CM収録
&
ラジオ生出演



打合せ終了後、みんなで記念撮影！

CM収録の最
終チェック作
業を入念に。



いざ収録開始！
CMは5種類。
色んなパターン
で収録。



5パターンのCMは
YouTube から聴取
できます！
ぜひ聞いてね！



YouTube

CMが完成し、約3週
間にわたり、FM熊本、
RKKラジオで放送。そ
の反響も大きく、岸部
さんの影響力の大きさを
痛感しました。

2018年3月19日
CM放送開始！

あ～緊張する～
ドキドキ…

収録スタジオを後にし
て、RKKラジオ放送局へ。
生放送に間に合うように
…安全運転で！



生放送番組「福ミミらじお」
に出演中の岸部さん。

大きかった求人CMの反響

法人事務局 人事主任 平山 恵美子

以前より、医療現場の人材確保はかなり厳しく、当院も介護や看護、調理等の職種に関しては長年苦労しています。そのような中、これまでにないリクルートを試みようということでラジオCMを制作することになりました。

ナレーションは、当院にご縁のある岸部一徳さんに依頼したところ、益城病院の復興を後押ししたいと快く引き受けてくださいました。当院では初となるラジオCMが完成しました。「よかボス宣言」を絡めたCM内容もあり、熊本県健康福祉部

子ども未来課のFacebookでは『よかボス企業』の取り組みとして紹介していただきました。

短期間のオンエアではありましたが、放送期間中のホームページアクセス数は通常の2～3倍と影響は大きく、約20名の問い合わせや応募に繋がりました。また、応募者の中には被災地の益城町や益城病院の復興を手助けしたいということで、遠方や県外からのお問合せもあり、とても心強く有り難く思いました。

子どもに寄り添う育児室

育児室「あんふあん」 保育士 森田 美栄子

0歳児から就学前の幼児までを対象とした育児室『あんふあん』。現在、益城病院から特別養護老人ホーム『花へんろ』の職員のお子さん、お孫さんまで幅広くご利用頂いています。

日勤・夜勤時の預かりはもちろんのこと、仕事が休みの日や幼稚園・保育園等に通われているお子さんの土・日・祝日の預かりもあり、今年からは産休・育休中の利用が可能となりました。

子ども達にとって一日の多くの時間を過ごす育児室が、“第二のおうち”となるように、安全はもちろん、安心して過ごせるよう、家庭的で温かい保育を目指しています。

天気の良い日には、院内散歩に出かけ、沢山の方に声を掛けてもらいます。仕事の合間に子ども達を見かけるとほっこりした気持ちになりますよね。

病院全体で子ども達を見守る、あたたかい育児室です。



皆様、はじめまして！ 医局新任紹介

地域精神科医療の経験に感激

新堀 隼也

しんほり じゅんや

本年4月から週に1回、益城病院に勤務させていただくことになりました。よろしくお願い致します。大学医局に所属し、縁あってここ数年、いくつかの熊本の精神科病院でお仕事をさせていただいております。以前より、益城病院は地域の精神科医療に加え、へき地での診療、最近では精神科救急に至るまで、幅広い役割を担っていると伺っておりました。まだこちらでの勤務が始まって日が浅いですが、益城病院での外来診療に加えてへき地診療を経験することができ、とても楽しく、新鮮な気持ちです。

地域に根ざした病院、また地域の診療所での診療を行うと、「この人がこの場所、地域でど

のような生活をしているのか、何に困っているのか」ということについて、より明瞭な輪郭を描くことができ、日々新たな発見があります。まだまだ修行中の身で、週に1回の勤務ではありますが、少しでも益城病院での診療の力になればと思っております。



家事・育児と仕事の両立を目指す

檜村 仁美

ならむら ひとみ

本年4月より益城病院で常勤医として勤務することになりました、檜村仁美と申します。よろしくお願い致します。宮崎大学医学部を卒業後、縁あって熊本の地に来ることとなり、熊本大学医学部附属病院で初期研修を終了した後、熊本大学医学部附属病院神経精神科に入局しました。入局後は出産や育児で休業しながらではありますが、精神科医としても研鑽を積むべく、大学病院などで研修を受けてきました。仕事と家事・育児との二足のわらじを履き、忙しい日々を送っていますが、益城病院では働きやすいように対応していただき、また24時間対応の保育室も設けてあるので、安心して、かつ集中して

精神科医療に取り組むことができています。患者さんの社会復帰に向けた、益城病院の様々な分野での取り組みを目の当たりにし、とても感銘を受けています。私も、患者さんを中心とした地域に根ざしたチーム医療の一端が担えるよう努力していきたいと思っています。これからよろしくお願い致します。



内科診療で入院患者をサポート

内科医 藤本 哲広
ふじもと てつひろ

はじめまして。本年4月より、週に2回、非常勤の内科医師として益城病院に勤務しています。藤本哲広と申します。3月までは、くまもと森都総合病院の血液内科と、総合診療科で内科診療に従事していました。現在、益城町内で在宅医療を行うことを目標に、小さな診療所を開設する準備をしているところです。診療所の開設までの期間、益城病院で勤務する機会を頂き、感謝しています。

これまでは、合併症や併存疾患が多く、臓器別の診療科が単独で対応しかねる症例の治療を担当してきました。これまでのところ慣れないことも多く、迷惑をおかけすることもしばしば

あり、恐縮しています。とはいえ、これまでの経験を活かして、益城病院に入院されている方の内科疾患の診療で、少しでもお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



口腔ケアと他職種連携

所属：熊本大学医学部附属病院 歯科口腔外科

歯科医 坂田 純基
さかた じゅんき

本年4月より週1日歯科を担当させていただいている熊大病院歯科口腔外科の坂田と申します。益城病院での活動内容としては、院内患者の歯科治療が中心です。様々な主訴をもつ患者さん一人ひとりにとって何がベストな治療かを思索しながら診療しております。

その中でもほとんどの患者さんに共通して欠かせないことは、口腔衛生環境の改善です。歯の喪失の主な原因である齲蝕（虫歯）や歯周病は細菌が原因であり、そのような口腔感染症の予防や誤嚥性肺炎の予防という観点でも、口腔ケアの励行による口腔細菌のコントロールが重要です。現在は、歯科室での診療のみならず、

歯科衛生士の中村さんが院内各所を回診して重点的に介入が必要な方をピックアップし、口腔ケア指導にも携わっています。この活動を院内に普及し口腔ケアを浸透させていくには他職種の方々との連携が不可欠ですので、今後は啓発活動にも力を入れたいと考えています。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



職員往来

2018年1月1日～2018年6月11日

新しい職場でがんばっています。
よろしくお願いします。

凡
例



フリガナ
名前

入職年月日

現在の所属
職種

- ① 趣味・特技
- ② 入職動機
- ③ ひとこと



タノウエ ユタカ
田上 豊

2018/1/16

薬局
薬剤師

- ① 卓球・旅行
- ② 行政（公衆衛生）に長くいたので、実務をやりたいと志望しました。
- ③ 業務に早く慣れるようにがんばります。



ヒガシナ オコ
東 奈央子

2018/2/1

訪問看護ステーション
准看護師

- ① アロマ・ガーデニング・散歩
- ② スタッフが明るく優しい職場だと感じたため、志望しました。
- ③ コツコツと頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



マスタ ミユク
舩田 実優

2018/4/1

橘病棟
看護師

- ① 音楽鑑賞・読書
- ② 病院見学の際、スタッフの対応や病棟の雰囲気良かったため、志望しました。
- ③ 先輩からの指導を活かしながら精一杯頑張ります。



ヨシカワ ミサキ
吉川 美咲

2018/4/1

栄養管理科
栄養士

- ① 買い物
- ② 去年実習の際、病院内や厨房が良い雰囲気だったため、志望しました。
- ③ たくさんのことを吸収し、精一杯頑張ります。



ヨネミツ シュンスケ
米満 俊輔

2018/4/1

1病棟
看護助手

- ① 映画鑑賞
- ② 震災から立ち直ったことが印象的だったため、志望しました。
- ③ 新卒でたいへんなこともありますが、色々なことを学び吸収して行きたいです。



マエムラ ミキヨ
前村 美紀子

2018/4/1

橘病棟
看護師

- ① 旅行
- ② 5年程内科系の病院に勤め、また戻って精神科にかかわりたいと思いました。
- ③ 5年離れ、浦島太郎状態です。早く慣れていければと思います。



カマキ アイ
鎌木 亜衣

2018/4/1

1病棟
看護師

- ① Caféめぐり
- ② 復興へと取り組む姿を知り、一職員として働きたいと思い志望しました。
- ③ 益城病院にて知識・技術を習得したいです。これからよろしくお願いします。



カワタ トモミ
川田 友美

2018/4/5

1病棟
看護師

- ① 読書・ソフトボール
- ② 精神科医療について、実践的な看護ケアを学ぶことができると思い、入職を希望しました。
- ③ 初めての精神科医療勤務のため不安ばかりですが、少しずつ自分のペースで頑張りたいです。



カジヤマ ミカ
梶山 美香

2018/4/16

橘病棟
看護師

- ① 読書
- ② 精神科を勉強したいと思いました。
- ③ 新たな気持ちで頑張ります。よろしくお願いします。



スギモト シノブ
杉本 しのぶ

2018/4/16

精神科デイケア
准看護師

- ① 子どもの世話、ものまね（笑）
- ② 精神科看護が楽しいと思っています。
- ③ 今は身体の不調で本領発揮できていないので、早く治して頑張りたいです。



カミノ サナエ
神野 さなえ

2018/4/16

1病棟
介護福祉士

- ① 映画鑑賞・読書
- ② 福利厚生がしっかりした職場だったので、介護職に戻ってがんばろうと思いました。
- ③ 新しく学んでいく気持ちで頑張ります。



カトウ リエ
加藤 利江

2018/5/1

薬局
薬剤師

- ① 奈良の寺社めぐり
- ② 精神医療のことを学びたいと思ったからです。
- ③ 新しい組織の中でベテランに囲まれて仕事ができるのは、とても楽しいです。



ニシヤマ ヨシコ
西山 佳子

2018/5/7

居宅介護支援
ケアマネージャー

- ① ドライブ・ガーデニング
- ② 求人ラジオCMを聞き、復興に向けて頑張るスタッフと一緒に働きたいと思い、希望しました。
- ③ 利用者やご家族に寄り添いながら「暮らし」を支援していきたいです。



ナカムラ ミドリ
中村 みどり

2018/5/7

栄養管理科
調理師

- ① 子どものヘアゴムや簡単な洋服を作る裁縫など
- ② 調理師の免許を生かした仕事がしたくて、志望しました。
- ③ 前職から5～6年のブランクがあり、一からのスタートですが、精一杯頑張ります。



メグミ シュウイチ
恵 修一

2018/6/1

診療支援課
作業療法士

- ① よくバイクに乗って温泉に行きます。
- ② 知人に相談したら「熊本の精神科なら益城病院しかない」と言われたので、志望しました。
- ③ 京都から熊本に来て7年たちました。業務のことはもちろん熊本のこともいっぱい教えて下さい。



サカモト ヒデオ
坂本 英雄

2018/6/11

法人事務局
事務

- ① ゴルフ、バイク
- ② 前職での病院施設管理の経験が生かせると思い、志望しました。
- ③ 学ぶべきことがたくさんあると思いますが、精一杯頑張りたいと思っています。



ツチヤ ヒロシ
土屋 博

2018/6/11

法人事務局
事務

- ① 車いじり、ドライブ、家事全般、アニメ鑑賞
- ② 前職の業務経験、被災と移転の経験を役立てたいと思い、志望しました。
- ③ 患者さん、職員に早く認めてもらえるよう頑張ります。

退職 お疲れ様でした。

久保田由紀子	クボタ ユキコ	2018/2/28	看護師	古澤 春美	フルサワ ハルミ	2018/3/31	臨床心理士
東 ゆかり	アズマ ユカリ	2018/3/16	看護師	水田 由紀	ミズタ ユキ	2018/3/31	看護師
岩佐 二郎	イワサ ジロウ	2018/3/31	医師	坂 梨 絹子	サカナシ キヌコ	2018/3/31	看護師
吉 富 碧	ヨシトミ ミドリ	2018/3/31	医師	小川内 友美	オガワウチ ユミ	2018/3/31	看護助手
内 藤 久 貴	ナイトウ ヒサキ	2018/3/31	歯科医師	外 山 理 恵	トヤマ リエ	2018/3/31	保育士
森 田 紗 代	モリタ サヨ	2018/3/31	作業療法士	森 下 憲 司	モリシタ ケンジ	2018/3/31	精神保健福祉士

研修医

木 村 顕 俊	キムラ アキト	2018/1/4～2018/1/26	熊本中央病院	尾 崎 健 太 郎	オノキ ケンタロウ	2018/6/4～2018/6/29	済生会熊本病院
佐 々 木 大 亮	ササキ ヒロユキ	2018/4/2～2018/4/27	済生会熊本病院				

研

修

と

院

内

勉

強

会

院 内

1月	25日	Webセミナー 成人期ADHD（医局）
	8日	Webセミナー 精神科急性期精神病に対する包括的な薬物治療（医局）
2月	23日	認知症対応検討会主催勉強会
	27日	クロザピンweb講演会（医局）
3月	7日	虐待防止委員会及び看護部研修委員会合同研修会
	8日	web講演会 精神科救急の現場で実践する薬物治療トリアージ（医局）
5月	28～31日	医療安全職員全体研修
	14日	web講演会 今求められる統合失調症治療（医局）
6月	25日	アルコール依存症に併発する精神疾患（医局）
	28日	レグテクトwebカンファレンス 統合失調症患者に対するaripiprazole持続性注射剤の安全性と有効性（医局）

院 外

	6～8日	産業医学専門講習会（犬飼邦明）
	10日	平成29年度熊本県地域支え合いセンター支援事務所人材育成事業地域生活支援研修（2名）
	10～11日	熊本県災害時こころのケア研修会（3名）
	10,22,31日	熊本県主任介護支援専門員研修（福島ひろみ）
	11,12,18,24,29日	平成30年度熊本県介護支援専門員更新再研修（野尻由紀）
	12日	平成29年度看護補助者の活用推進のための看護管理者研修（金子元子）
	14日	平成29年度精神科医療体制確保研修（8名）
1月	17日	熊本県精神科協会学術講演会「精神科病院外来での抑うつ・不安の治療研修会」【講師：渡邊信夫】（岩佐二郎）
	17～18日	サービス管理責任者研修「地域生活分野」（2名）
	19日	特定給食施設研修会（井上さとみ）
	19～20日	院内感染対策講習会（渡邊信夫）
	21日	第20回指導医講習会（宮崎知博）
	24日	日本精神科看護協会熊本県支部研修会（福満小百合）
	25,26日	第70回九州精神神経学会、第63回九州精神医療学会（犬飼邦明他7名）
	27,28日	医事事務補助者研修（渡邊和美）
	30日	平成29年度第3回県央障がい者相談支援連絡協議会研修会（2名）
	31日	キャラバンメイト・スキルアップ研修（2名）
	3日	上益城地域看護職員継続教育研修会（山田加代）
	5,6,20日	平成29年度熊本県相談支援従事者現認研修（永野健太郎）
	5,15,19,26,28日	平成30年度熊本県介護支援専門員更新再研修（野尻由紀）
	13日	熊本県介護支援専門員研修（福島ひろみ）
	14日	益城町老人クラブシルバーヘルパー研修会（2名）
	15日	平成29年度総務管理研修会（3名）
2月	15日	上益城介護保険事業者連絡協議会研修会（2名）
	16日	鶴見台病院長期入院患者地域支援強化事業研修会【講演：犬飼邦明】/別府ビーコンプラザ国際会議場
	20日	KYTリーダー研修会（村上嘉浩）
	20日	相談支援従事者研修（2名）
	21日	平成29年度予防接種従事者研修会（2名）
	21日	4大認知症認知症状のケアとリスク研修会（甲斐優希）
	22日	熊本県精神科協会栄養部研修会（井上さとみ）
	23,24日	第28回アルコール看護研究会大分大会（3名）
	23,24日	認知行動療法研修（渡邊史子）
	1日	平成29年度上益城地域在宅ケア研修会（5名）
	1・2日	依存症相談対応指導者養成研修（木原正司）
	3日	平成29年度熊本県DPAT研修会（4名）
	4日	平成29年度熊本県認知症・地域連携専門研修（3名）
	5,13日	平成30年度熊本県介護支援専門員更新再研修（野尻由紀）
	8,9日	第12回肥前司法精神医学研修（西尾啓）
3月	11日	第14回上益城ICLS（ICLS基礎コース）G2015研修会（宮崎知博）
	11日	精神科医のための身体合併講習会（アドバンスコース）（渡邊鮎子）
	12日	平成29年度熊本県四病院団体合同研修会（犬飼邦明）
	14日	こころのケア研修会（犬飼邦明）
	15,16日	サービス管理者研修
	24日	熊本高齢者抑制を考える会平成29年度第3回研修会（2名）
	27日	熊本精神科協会主催診療報酬改定研修会（2名）
	27～30日	公認心理師現任者研修（豊田佳代子）
	31日	上益城介護保険事業者連絡協議会居宅部会研修会（本田千代美）

4月	14日	2018年度済生塾研修（4名）
	25日	熊本県精神科協会診療報酬改定説明会（6名）
5月	12日	熊本県基幹型認知症患者医療センター研修（6名）
	16～20日	医療安全管理者研修（金子元子）
	19日	2018年度済生塾（3名）
	20日	福岡県栄養士会研修会（診療報酬改訂について）
	25日	日本精神科看護協会熊本県支部第1回支部研修会（小崎淳）
	25日	熊本県精神科協会事務長会・看護部会研修（9名）
	25日	日本精神科看護協会支部研修会（福満小百合）
	30日	褥瘡・医療安全対策研修（榮永紘之）
6月	2日	第12回九州沖縄医療情報技師会勉強会（2名）
	2日	熊本県精神科協会看護管理者研修会（3名）
	3日	アルコール健康障害対策一般市民公開セミナー（2名）
	9日	熊本県精神保健福祉士総会・研修会（5名）
	15日	熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会総会・研修会（2名）
	20～24日	日本精神神経学会（5名）
	22,30日	日本精神科看護協会支部研修（福満小百合）
	27～29日	認知症介護実践者研修（黒田恵美）
	29日	日本精神科看護協会大分支部研修（金子元子）
	29,30日	日本老年精神医学会（吉村裕子）
	30日	日本精神科看護協会熊本支部研修会（梅田亮一）
	30日	上益城介護保険事業者連絡協議会平成30年度総会及び第1回全体研修会（4名）

※他にも院内外でさまざまな研修・勉強会等に参加しています。

資格取得

7名の職員が勤務のかたわら勉強に励み、資格を取得しました。
新たな知識を業務に活かして、これからも頑張ります。

看護師



2病棟
丸山 めぐみ

准看護師



1病棟
関本 悠喜

准看護師



3病棟
小崎 淳

精神保健福祉士



2病棟
吉澤 友希

准看護学校を卒業し、4月から准看護師として働いています。学生の間は病棟のスタッフをはじめ、たくさんの方の支援に深く感謝いたします。現在は看護師になるために夜間学校に通っています。まだ学生であり未熟ですが、資格を持って働いている以上、プロとしての意識を持って患者さんの看護を行っていきます。今後は学校で得た学びを積極的に取り入れ、患者さんの状態にあった看護を実践していきます。

小崎 淳

社会福祉士



健味健食園
宗雲 美樹

社会福祉士



橋病棟
岩木 謙

診療情報管理士



医事
荒木 洋

診療情報管理士は、病院等で行われた診療行為に関する情報を管理し、必要に応じて提供することを目的としています。

認定試験を受けるにあたっては諸先輩からの情報提供もあり、無事に合格することが出来ました。

院内において、診療情報管理士が必要とされる場面が今後増えていくことは必至です。例えば診療情報の体系的な管理、個人情報の保護、情報共有の支援等が挙げられます。それらの場面で活躍できる存在になるよう、頑張ります。

荒木 洋

音楽も車も “不便を楽しむ”

法人事務局 情報センター 清野 健二郎

学生時代、車で聴く音楽はカセットテープでした。少しでも良い音でCDからダビングしようと、一度CDを最後まで聴きながら録音レベルを調整した後で、実際に録音するという手間をかけていました。その後パソコンで簡単に曲を取込めるようになり、便利にはなりましたが、不思議と音楽を楽しむ気持ちは減っていきました。カセットテープはMP3に変わりましたが、すっかり影の薄くなったマニュアル車の「不便」は、今も変わらず楽しんでいます。



2018年1月～6月

病院等行事

1月	1～31日	接遇推進月間（挨拶・言葉使い・態度・身だしなみ・人権の尊重）
	4日	平成30年年頭式典
2月	5～25日	尚絅大学「墨の美展」／犬飼記念美術館こころと心のミュージアム
	26～3/31	描くこころと心「伊東浩一の絵画展」／犬飼記念美術館こころと心のミュージアム
3月	3.11, 17日	職員旅行（福岡）
	9日	バイキング給食
	19日	行動制限最小化、個人情報保護委員会全体研修会
4月	21日	益城病院復興祈念2周年イベント
	24日	4月生まれ職員誕生会
5月	28日	グループホーム「ふるさと」避難訓練
	31日	5月生まれ職員誕生会／粥菜レストラン季寿
6月	13日	あじさい忌
	20日	病院火災避難訓練（昼間想定）
	26日	6月生まれ職員誕生会／粥菜レストラン季寿
	28日	自立型宿泊訓練所「コスモ」火災避難訓練（昼間想定）

実習生受け入れ実績

3月 病院見学・震災について学ぶ/兵庫県尼崎小田高等学校（30名）

5月 ルーテル学院大学PSW実習（1名）

診療実績

単位：人

区 分		1月	2月	3月	4月	5月
外 来	外来患者延人数	2,537	2,586	2,963	2,823	3,039
	（うち新規患者人数）	38	38	45	63	60
	平均外来患者人数	94.0	123.1	105.8	117.6	108.5
入 院	新入院患者人数	35	32	31	29	35
	退院患者人数	34	39	29	31	32
	在院患者延人数	6,485	5,851	6,339	6,125	6,256
	平均入院患者人数	209.2	209.0	205.4	204.2	201.8
	平均在院日数(単位：日)	188.0	164.8	211.3	204.2	186.7

こころと心のミュージアム

平成30年度 犬飼記念美術館 年間スケジュール

春の名品展	4月3日(火)～4月22日(日)
地域公募展「飯田山写真展」	4月24日(火)～4月29日(日)
熊本の風景と心展	5月1日(火)～6月10日(日)
茶の湯のかたち展	6月12日(火)～7月1日(日)
地域公募展「甲佐絵画クラブ展」	延 期
夏の風景と涼を楽しむ心展	7月10日(火)～7月29日(日)
熊本県立第二高等学校美術科作品展	7月31日(火)～8月26日(日)
戸田東蔭と仲間たちの心展	8月28日(火)～9月24日(月)
地域公募展「水墨画展」	9月26日(水)～9月30日(日)
書の三人展	10月2日(火)～10月28日(日)
赤の美展	10月30日(火)～11月25日(日)
木から育つ心展	11月27日(火)～12月24日(月)
初春の色展	1月5日(土)～1月27日(日)
熊本現代アート展	1月29日(火)～2月17日(日)
ひな祭りといろいろな人形・玩具展	2月19日(火)～3月31日(日)

※開館時間：10:00～16:00まで(入場無料) 総合受付に隣接しています

都合により日程が変更する場合があります



2018年4月
新入職員と記念撮影

編集後記

3月に新病院の起工式が執り行われました。通常業務を行いながら、新病院の引越移転のための大がかりな業務を同時に進めなくてはなりません。わくわくする希望の中での取り組みですが、安全に患者さんを移動させることに職員一同知恵を絞っています。そんな中、リクルートに力を入れ、多くの職員を採用することができました。これからの益城を担うスタッフです。温かいご支援をお願いします!!

(田中洋子)



MASHIKI HOSPITAL

社会医療法人ましき会

益城病院

精神科・心療内科・小児科・歯科

〒861-2233

熊本県上益城郡益城町惣領1530

☎ 096-286-3611

外来お電話受付時間(月曜～金曜)

午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00



付属施設

- 熊本県認知症疾患医療センター
- 高齢者グループホーム「ふるさと」
- 地域活動支援センター「アントニオ」
- 訪問看護ステーション

- 居宅介護支援センター
- 就労継続支援B型事業所「健味健食園」
パン工房まりも・農園グリーンサム
軽作業 あひるのしっぽ

- 宿泊型自立訓練事業所「コスモ」
- 育児室「あんふあん」
- 犬飼記念美術館
「ところと心のミュージアム」

関連施設

- ひろやすクリニック 内科・消化器科・循環器科
熊本県上益城郡益城町惣領1544番地3
TEL 096-286-3636

- 特別養護老人ホーム 花へんろ
熊本県上益城郡益城町惣領1670
TEL 096-287-8706

- 養護老人ホームAKAI花へんろ
熊本県上益城郡益城町赤井1800
TEL 096-286-2075

益城病院

検索

表紙タイトル: Reborn(リボーン) 新しく生まれ変わること。 表紙写真: 休日のテクノリサーチパーク

撮 影: 阿蘇品直文 編 集: 堀地久美子 発 行: 社会医療法人ましき会 益城病院 広報委員会 発行日: 2018年7月25日